

# 令和二年度 やすらぎ会事業計画

## 【法人理念】

普通の生活の場であるというノーマライゼーションの理念を基に、空気清涼で緑色豊富という絶好の環境を生かし、更に、人をたすけて我が身たすかるという“おもい”をもって、地域に密着した事業の運営を目指す。

## 【基本方針】

### I 安定した法人運営

安定した経営基盤を構築し、健全な法人経営が行えるよう、以下の施策を実施します。

- ①「経営基盤の安定」
- ②「財政と運営の適正管理」
- ③「顧客満足追求の推進」
- ④「法人内安全衛生環境の整備」
- ⑤「人材確保と定着への取り組みの推進」

### II 質の高いケアの提供、人材育成と魅力ある職場作り

少子高齢化による介護人材不足がより一層進むなか、顧客や地域の信頼に応え、質の高いサービスが提供できるよう、人材確保、育成、生産性向上にむけた以下の施策を実施します。

- ①「質の高いケア提供にむけた取り組み」
- ②「接遇マナーの向上」
- ③「人材育成の推進」
- ④「生産性向上の促進」
- ⑤「法人内委員会の再編成」

### III 地域福祉の実践

地域における多様なニーズに適応しながら、地域で支え合いできる体制づくりを支援し、公益的な取り組みが行えるよう、以下の施策を実施します。

- ①「地域公益事業の推進」
- ②「地域の多様な福祉ニーズの対応」
- ③「施設機能の地域活用」
- ④「地域内災害発生時の整備」
- ⑤「新事業（法人新規事業）展開の模索」

## 【推進項目】

### I. 安定した法人運営

#### ①経営基盤の安定

法人中長期計画に基づき、経営基盤の安定と組織力強化をはかり、中長期的視野をもって顧客サービスの向上や地域福祉の推進を積極的に行います。又、今年度より譲受したグループホームなごみ筒井の事業運営を注視することに加えて、法人他事業毎での課題に対して、PDCA サイクルを用いて計画、実行、検証を重ねて改善につなげます。

#### ②財政と運営の適正管理

法人の経営情報開示や法人事業の収支管理の適正化、年度計画作成と評価に加えて、施設運営にかかる助成金や補助金を有効に活用します。又、施設老朽化における大規模修繕に関して専門家の助言を受けながら事業毎に整理を行い、建物の長期維持にむけた改修工事計画を検討します。さらに、法人内車輛に関して走行距離数や車検時期、事業別使用頻度を勘案しつつ補助金活用による購入や廃車手続き等の整備を行います。

### ③顧客満足追求の促進

法人内事業において顧客満足度の向上をはかる為、顧客に対してアンケート調査等といったニーズの把握を行い、具体的な取り組みを検討します。

### ④法人内安全衛生環境の整備

前年度に引き続き、法人内施設における入居者や職員の安全確保をはかる為に、専門業者や関連機関との連携や防犯・防災設備の検討、関連マニュアル等の整備を行います。又、新型肺炎等の新たな感染症等に対して、関係機関と連携をはかりながら専門委員を主として、感染予防や拡大防止にむけた情報共有や啓発、対応をはかります。

### ⑤人材確保と定着への取り組みの推進

これまで同様に就職斡旋機関や近隣高校や大学、福祉系学校等に対して当法人のPRや外国人労働者の採用実現にむけての検討を行いつつ、人材定着にむけた取り組みとして、法人職員に対して満足度調査を行い、定着を阻害する課題の抽出を行います。

## II. 質の高いケアの提供、人材育成と魅力ある職場作り

### ①質の高いケア提供にむけた取り組み

前年度に引き続き、実施した研修内容を検証しつつ、専門職種又は事業単位にて職場内研修に関する年間計画を作成し実施します。又、法人内専門委員を立ち上げて顧客への質の高い支援がはかれるよう学習や研究をはかります。

### ②接遇マナーの向上

顧客に対して一定の支援が行えるよう、専門委員や職種、事業毎で法人職員の行動指針に基づく接遇マナー向上にむけた取り組みを行います。

### ③人材育成の推進

今年度より本格化するキャリアパス制度の運用により、職員個々がキャリア目標を持ち働きがいのある職場を目指します。又、専門委員を主体としてキャリアパスに応じた研修プログラムを検討します。

### ④生産性向上の促進

業務上における職員の心身への負担軽減をはかり業務の効率化と生産性向上をはかる為、前年度に引き続き、『抱えない介護』に基づく介護ロボや機器の効果検証や浸透、業務改善をはかります。又、ICT（情報通信技術）についても、今年度運用予定である介護記録電子化の効果を測定しつつ、補助金等を活用しながら生産性向上につながる他機器の導入を検討します。さらに、法人内パソコンやPHS機器について経年劣化に伴う老朽化が進んでいる為、入れ替え等を検討します。

#### ⑤法人内委員会の再編成

前年度に引き続き、顧客に対する質の高いケアが提供と法人職員が全体的に参画できる事を目指して、既存する委員会を再編成し、委員会活動の活性化を行います。

### **Ⅲ. 地域福祉の推進**

#### ①地域公益事業の推進

法人が現在実施している公益事業に関して、安定した事業運営がはかれるよう整備をはかり、法人自体が持つ専門性を地域に還元します。

#### ②地域の多様な福祉ニーズの対応

天理市東部地域包括支援センターや居住支援法人を主として、法人内職員が対象地域に対して積極的介入を行い、潜在的な福祉ニーズの発見とその課題に対する支援を検討します。

#### ③施設機能の地域活用

ニコニコ広場を含めた法人内施設機能の一部を地域に開放し、地域交流スペース等有効に活用してもらえる取組みを検討、実施します。

#### ④地域内災害発生時の整備

奈良県や天理市等の関係機関と連携をはかりながら、地域での災害発生時における福祉避難所としての運営内容を明確にします。

#### ⑤新事業（法人新規事業）展開の模索

前年度に引き続き、地域への福祉サービス再投下にむけた収益事業・公益事業について、理事を主体として具体的に模索します。